

## 会場②—3信州大学教育学部附属長野小学校 発表を見た方からの感想

- 素敵な発表をありがとうございました。森林は人が手入れをして、整備されていることが大切だということが分かりました。また、ウッドショックという言葉は初めて耳にしました。コロナウイルスによって輸入材が減少しているからこそ、改めて日本の林業に目を向けなければならないと思います。国産材を使うことの意味を自分でも考え直してみます。
- 素敵な発表ありがとうございました。森林の現状を調べ、ウッドショックなどの現状を知り、課題意識を持っているところが大人になっても大事なことだなと感じました。森林税のことを全く知りませんでした。勉強になりました。
- 木に興味を持った生徒たちに、より楽しませるように先生がカブラという面白い木を紹介していて、生徒の興味関心を持たせる素晴らしい対応だと思いました。ウッドショックについて外国と日本の違いを理解して、日常生活が当たり前ではないと考える姿勢が良かったです。
- 生徒たちが実際に木を使った様々なものと触れ合うことで、気のぬくもりなど、木材の良さを感じることで、自然と生徒たちの中に森林を守りたいという思いが現れているように感じました。また、色んな人にお話を聞くことで、様々な思いに触れ、より大切にしたいという思いが高まっているのではないかと思います。
- カブラに興味を持った生徒たちが、カブラで遊ぶだけでなく、そこから森林についてつなげていくことは、とても興味深かった。これは、生徒たちが自分たちで進めていったことなのか、教師がある程度、道筋を建てたのか気になった。
- 個人的に発表の際に使用をしてくださったスライドがとても見やすく、思考の経過や活動の内容などがスッと入ってきていました。国産の木材について調べ上げその良さを実感するためにベンチを作ってみる活動をしていましたが、実際に触ってみたり座ってみることで木材の良さが伝わりやすいのでは無いかと思いました。
- スライドと説明がとても分かりやすかったです。ベンチづくりの活動の流れを聞くと、作ったベンチにはみなさんのこだわりが詰まっているだけではなく、林業の人たちや座る人たちにも優しい特別なベンチなのだと思います。今後もぜひ多くの人の立場に立って考えながら活動を行って行ってください。
- 林業と木材について考える活動を通してベンチを作りたいと思ったことから、木材の魅力に取りつかれていった様子や、そのような心の動きを誘発するような魅力を木材が秘めていることを感じ取りました。今回木材の魅力に気が付いたように、これからも日常にある様々な魅力について気が付き、それを日常に取り込もうとする気持ちを持ち続けていただきたいと思いました。素晴らしい発表ありがとうございました。
- 素晴らしい発表をありがとうございました。私が信州大学附属長野小学校6年2組の皆さんの発表を聞いて、子ども達の一人一人が問題を見つめ、解決するために向き合っていたように感じました。というのも、森林に伐採が行われる問題に対して、問題と向き合うだけではなくカブラという木を題材に木と触れ合ったり、林業に携わる各々の職業の人と関わったりする姿から6年2組の皆さんがこの問題を自分たちなりに噛み砕いて、取り組んでいる様子が思い浮かびました。今後も、身近な問題に目を向け、自分たちの問題として受

け止められるみなさんの姿を大切にしていってください。ちなみに杉で作ったベンチはどこに設置してありますか？是非見てみたいです！

- 資料で調べるだけではなくて、様々な人の声を直接聞いて調べているということは私も見習わなければならないと思いました。自分たちで探求する姿がとても素晴らしいと思いました。また、非常にわかりやすい発表でした。作られたベンチはどこにあるのでしょうか。ぜひその据わり心地を確かめてみたいです。
- 発表から日本の木のよさや林業の重要性、森林の環境を守ることの大切さがとても伝わってきました。これまで学んできた日本の木を使うことの大切さや日本の林業、地球環境について、これからもさらに深めていってください。
- 国産材を使う意義を考えてもらえるような素晴らしい活動でした。輸入材の割合が高く、国産の割合が低いことも日本や外国の地形に着目して考えられていてとてもわかりやすかったです。この活動が広がり国産材を使用する人が増えることを祈っています。
- 気を切るとは悪いことではないということにとっても心を打たれました。木は今の生活には必要不可欠です。そのため、なくなってはならないのに木を切り続け、木を使い続けいることにとっても悲しくなりました。木を植えていかななくてはならないと思いました。
- 子どもたちの木の伐採に対してイメージが自然破壊から環境を守ることに逆転していて面白いと感じました。そのように間違った偏見を改善することは大切だと思います。また働き手が少なくなっている林業にスポットを当てて環境問題をとらえていて、教材として非常に勉強になりました。
- 身近なものだからこそ、あることが当たり前だと感じてしまいがちな森林について、木への興味から課題を見つけ、多くのことを学んでいった姿勢から、森林を大切にしたいという気持ちがとても伝わってきました。課題と向き合い、自分たちで活発に調べたり考えたり活動をしたりしていて、これから中学生や高校生になってからの探究活動もきっと良いものになっていくのだろうなと感じました！
- 木を切ることが悪いという固定概念を持っていましたが、それを打ち壊し、木の伐採の大切さを学ぶことが出来ました。多くの人々の支援を受け、その期待に応えるかのような主体的で実践的な活動、未来へつなげる森林プロジェクトを推し進めていて素晴らしいと思いました。
- キノハナがとても綺麗でした。コラボ作品が特に私は好きでした。普段当たり前のように使ってる木材ですが、その裏にたくさんの人の努力があるということが分かりました。ベンチ一つとっても、皆さんが経験したようにたくさんの工夫と努力が詰まっていると思います。木材の見方を見直そうと思いました。これからも木材について、国産材について、たくさん学んでいってください。
- コロナ禍で木の需要が高まってきていることに対する附属長野小の皆さんの学習はとてもタイムリーな内容で興味深いものでした。長野県もしくは日本の国土そのものが森林に囲まれた地であるので、それをいかに上手に使っていくか、そしてどのように守っていくかを考えているところが、持続可能な開発につながっていると感じました。

- 国内の森林・林業の現状を調べることや、関係者の方々のお話を聞くことなどから生まれた自分たちの思いや願いを、県の杉を使ったベンチという形に残すことで叶えていることが、素晴らしいなと思いました。実物を見ることで、活動を知ってもらうことはもちろん、使ってもらうことで、木のぬくもりや大切さを多くの人に感じてもらうことができ、とても有効だと思います。活動を支えてくださった関係者の方々への感謝の気持ちを常に忘れず、思いをくみ取ろうとしている姿勢がとても印象的でした。
- 森林の話、ベンチづくりの話とても興味深く聞かせてもらいました。私も中学生の時に木を使ってモノを作るという体験をしました。私が印象に残っているのは木をかんなで削る作業です。すべすべになる感覚がとても気持ちよかったのを覚えています。木の有効活用の仕方、私も考えてみたいと思います
- 「国産材を使うことの意味をもう一度考えたい」という職人さんのお話を、自分たちなりに解釈して、その意味を考えながら活動に取り組まれている姿がとても印象的でした。多くの方からのお話や体験から、その魅力に触れたり、考えを深めている様子が良く伝わってきたので、これからもたくさんの人との出会いや交流を大切にしていって欲しいなと思いました。
- みなさんの発表を聞き、全員がはきはきと話していて、とてもいいなと感じました。話したい内容がよく伝わってきました。内容についてですが、「木の伐採」というのはそこだけを見ると、「環境に悪いのでは？」「自然を破壊している」とイメージしてしまいがちですが、「良い森林のサイクル」というものがあるので、環境がよくなるという面もあるということを私たちは知る必要があるなと感じました。ベンチは私も機会があれば行ってみたいと思います。
- 森林が自分たちの町とどのようにつながり、関わっているのか、とても一生懸命に考えたのだと思います。ベンチづくりでは試行錯誤し、どのようにしたらよりよいものとなるのか、よく考え作っていることが伝わってきました。森を大切にしたいという思いも地域の方に届いているのではないのでしょうか。森林について熱心に学んだことが伝わる発表でした。
- 木を切ることのメリットやデメリットを通して、日本の貴重な資源を有効に使うことや持続的に使うことで未来にも資源を残していけるということが分かった。また、森林税についても詳しく調べて説明しており、今後の林業について考えさせられた。ベンチづくりでは自分たちで木を選び、施設への電話まで皆さんで行っており、林業への思いが伝わった。これからも、日本の林業について地域の方々に広めていってください！
- 発表ありがとうございました。子どもたちの森林に対する理解が、表面的なものではなく、森林の特徴やそれに伴う課題、そして人との関係性など、多面的・重層的な理解となっているのが印象でした。そしてその森林に対する理解の上で生まれた「未来につながる森林プロジェクト」は子どもたちの思いが乗っていると感じました。また、なかなか補助金を利用しての総合は聞いたことがなく、本気になればそこまでできるんだ、と私の枠も広がりました。ありがとうございました。
- 木を介して多くの方と出会うことで、木の大切さや今日の日本における木材の位置など幅広い視点から「木」について考えている姿が素敵だなと思いました。自分たちの願いで専門の方と繋がり、ベンチの製作になっていくプロセスや、子どもたちが県産材の良さを多くの人に知ってもらいたいという思いも強く感じる事ができました。一つの材が多様な可能性をもつということを教えてくださいました。ありがとうございました。

- 調べ学習をととても念入りにしてあり、他者に伝えようとする姿にととても感動しました。子どもたちの中でよく話し合いながら森林をどのように利用していけばいいのか、また人間の利己的な思いにではなく「持続可能な社会のため」という目標をしっかりと持っていて、私自身の学びにもなりました。ありがとうございました。